

千葉県社保協通信

2015年度 — No11 2016年 1月 27日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

“税金はくらしと社会保障最優先”が憲法の大原則 必要な医療と介護は 国の責任で。

千葉駅頭定例宣伝

千葉県社保協は消費税廃止千葉県連絡会とともに、1月25日、JR千葉駅前で「消費税増税中止、安全・安心の医療・介護の実現を求める」宣伝を行い、署名を呼びかけました。

いつもより人通りが少なく寒さのためか手を出すのをためらう人もいましたが、積極的に声をかけながら、テッシュ付医療・介護署名はがきと「中止しかない消費税増税！」チラシを350セット配布。12筆の署名が寄せられました。

民商・千商連、千葉労連、自治労連、千葉土建、新婦人、保険医協会のメンバーらが次々とマイクを握り、「安倍首相は“一億総活躍社会”というが社会保障や福祉はそっちのけ」「税金の使い方も集め方も国民いじめ、“軽減税率”は増税を国民に押し付けるゴマカシ」「誰もが金銭の心配なく医療や介護を受けられるようにすることは国の責任」などと訴えました。清掃の仕事をしているという70代の女性は「元気だから働き続けているが、医療や介護のことはとても不安、何とかしてほしい」と署名。「消費税は必要だと思うが、社会保障はよくしてほしい」と医療・介護署名のみに応じた人も。1時間の宣伝行動の後半20分は、すぐ近くに「国際勝共連合全国遊説隊」がやってきて演説を始め「安民法制」は絶対に必要と叫び続けていました。参加者は「戦争する国づくりと社会保障は相容れない。何としても参議院選挙で安倍政権NO!の審判をつきつけ退陣させるしかない」と確認しあいました。



お金のない人から無理やり国保料を取ることが「公平」なのですか？

—千葉市国保を考える会が市と交渉—

千葉市では国民健康保険料の連続的な引き上げが続いています。1月26日、市内の民商、生健会、民医連、年金者組合などから11人が参加し、国保制度の改善と充実を市に求めました。理髪店を営むOさんは「格安店のあおりで、チラシ配布など努力はしても売上げは半減。



病気の妻を抱え、何とか国保料だけはと分納を続けているがこれ以上は限界。お金のない人から無理やりとることが“公平”なのか」と訴えました。健康保険課長は窓口対応の改善を口にしつつも、払っている人との“公平”を強調しました。

また「減免申請の窓口での預貯金の確認の中止」を求めたことに対し、「預貯金を現年度収入と見なしている」と回答。減免のハードルが高く活用できない実態が明らかになりました。

さらに、今年度からの保険者支援制度拡充による予算増加分6億4800万円は、法定外繰り入れの減額に充てられ、保険料の引き下げに繋がらなかったことがはっきりしました。

「千葉市国保を考える会」では、近く開く総会で「国保制度とは」「千葉市の国保」について学習し、市民に実態を知らせ制度改善の取り組みを広げていくことにしています。

●総会⇒ 2/6(土)13時30分～

千葉市生涯学習センター 3階研修室2にて